

# 租税教育の実践について

---

石巻市立向陽小学校  
教諭 綿引 達也

## 発表の流れ

---

- 1 租税教育の指導過程について
- 2 租税教育の取り組み 実践
- 3 児童の感想

# 租税教育の指導過程（4時間）について

- ① 社会科の政治分野としての学習（1時間）
- ② 租税教室（1時間）
- ③ 国語の討論単元での学習（1時間）
- ④ ICTを活用したまとめ（1時間）

## 租税教育の取り組み 実践①

社会科の政治分野としての学習

- 税金ってなんだろう？
- どうして税金が必要なの？
- 何に使われているの？

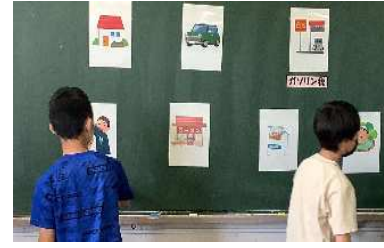
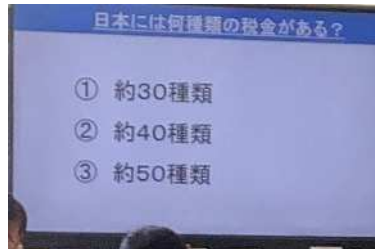
税金は、人々の暮らしを守り、よりよい暮らしにするために使われるものである。



## 租税教育の取り組み 実践②

租税教室を通しての学び

○税金について知る。



## 租税教育の取り組み 実践②

租税教室を通しての学び

税金の使い道を考える。

お金の重さを知る。



# 租税教育の取り組み 実践③

## 国語の討論单元での学習

6年生「話し合って考えを深めよう」

学習のねらい 将来、社会の担い手として税金の正しい使い方を考えたり、異なる立場の意見を聞くことで、新しい見方を見つけたりすることができるようにする。

話し合いの議題

①遊び場と勉強道具 どちらに税金を使うべき？

②税金を観光やイベントに使うのは良い？ 悪い？

## 話し合いの様子

①遊び場と勉強道具 どちらに税金を使うべき？

遊び場→

- 雨の日や暑い日に遊べる施設は必要。
- 子供が遊べる環境を作って、様々な人と交流させるべき。

勉強道具→

- 勉強するためにお金がかかると大変。
- 勉強する環境を整えることは大事。

②税金を観光やイベントに使うのは良い？ 悪い？

良い→

- イベントで地域が盛り上がれば、経済が盛り上がる。
- 観光客が増えたり、地元の人も楽しい気持ちになれる。

児童からは「悪い」という意見は出ませんでした。本当にそうなのか？  
チャットGPTを活用し、デメリットも確認しました。

チャットGPTから出た デメリットから考えたこと

- たくさん観光客が来るのはいいが、ごみや騒音の問題が起きてしまう。
- イベントが失敗してしまうかもしれない。
- 生活を支えるために税金が使えなくなってしまう。



観光客が増えたり、地域が盛り上がりすぎたりするけれど、マイナスなことも考えないといけないことを実感しているようだった。

税金を使うときには、「何のために」「何を大事にするのか」「住民のためになっているか」を考える必要があることを学ぶ機会になった。

税金の使い道の正解を決めることは難しいかもしれないけれど、一人ひとりが税金に興味関心を持ち、自分の考えをもつことが社会参画への第一歩だと考えます。

## 租税教育の取り組み 実践④

### ICTを活用したまとめ

- 税金に関するポスター作りをグランドデザインツールで共同編集をしながら行う。

学習の流れ

- ①キャッチコピーを考える。
- ②グランドデザインツールの中から参考になるレイアウトを見つける。
- ③自分たちのイメージに合うように、イラストや写真、言葉を入れ替える。
- ④発表

## 児童が作った作品



## 税金について学んだ児童の感想

- 「税金なんて知らない！」って思っていたけど、税金が日本を支えていることが分かりました。税金を使って日本をよりよくして欲しいなと思いました。
- 自分たちの環境を整えてくれることに感謝の気持ちをもたなくてはならないなと思いました。
- 納税をすることが国を変えるきっかけになることが分かりました。税金の大切さが分かりました。

